

4. <生徒の感想>

- ・初めてシンハラ文字を見た時書きにくそうだなと思った。発音してみると難しく大変だった。
- ・1ルピー=1円と言うところに驚いた。
- ・熟練労働者一日の日当が500ルピー=500円と聞いて驚いた。物価が安い筈だ。
- ・タミール人は軍人にはなれないと聞き驚いた。
- ・国際交流には英語が重要であることに気付いた。
- ・今回パワー・ポイントでスリランカ国を学んで行きたくなった。楽しい授業だった。
- ・気温が年中ほぼ30度と聞いて、四季の変化がある日本の方が良いと思った。
- ・地雷が未だに埋められているし、テロがあったと先生が言った時、日本は平和な国だと思った。皆笑顔で暮らせるようになってほしい。



- ・「赤道に近い国」と言うイメージしかなかったが、実際に研修で行った先生の生の話が聞けて座学では学べない部分を学べて良かった。
- ・機内食の写真が美味しそうだった。シンガポール修学旅行の時の機内食が何か楽しみだ。
- ・海外には二度行った。先生は色々な偉い人と会えて良いなと思った。人の輪が広がって良い。私も色々な処へ行ってみたい。
- ・カレーは印度人しか食べないと思っていた。まさかスリランカの人達も毎日食べているとは

<今村隊員の活動拠点視察>

知らなかった。

- ・外国の唐辛子は辛いことが多いのだが何故だろう。アフリカから発生した同じ人間なのに何処で違って来たのか興味が出てきた。
- ・寺院では靴や靴下を脱いで上がらなければいけないことに驚いた。
- ・僧に挨拶する時は土下座して足にちょんちょんと触らなければいけないとは驚いた。
- ・先生が、眼光鋭く顔付きがきりっと引き締まった青年を指してエリートだと言ったが大学生の顔付きを観て納得出来た。
- ・僧が「握手をしてやろう」と言う態度で指先だけしか触らないのには違和感があった。でも、海外では、“郷に入れば郷に従え when in Rome do as the Romans do”で行かないといけないのだと納得。
- ・日本と同じ仏教国なのになんか違うことに驚いた。
- ・手でご飯を食べることに驚いた。印度だけかと思ってた。
- ・先生の話聞いて海外に行くのは楽しそうだと思った。
- ・民泊の時、夜になるとコブラが出てくると聞いて怖いと思った。
- ・外国の文化を知る事は興味深いと言うことがこの報告会を通して分かった。
- ・日本政府が、数々の援助をして青年海外協力隊も大活躍している事を学んだ。



5. 成果と課題

JICA 事業である教師海外研修に参加し、その得た処を生徒へ還元すべく色々と工夫を凝らしたが、ある程度の成果は得た。手応えはあった。

パワー・ポイントを作り視覚に訴えたことが良かった。言葉だけでは、実感出来ぬ部分があり生徒の評価も上々であった。スリランカについての理解が進むとともに異文化についての興味関心が増した。また、日本が行っている物心両面に亘る援助についても認識を新たにしようである。

「世界史 B」「国際理解講座」において実践したのは時宜を得ていた。本校は、世界に視野を広げ世界で活躍できる人材の育成に力を注いでいる。そう言う面からも良い研修であり、良い授業であったと思う。

これから、日本は難しい国際問題にますます関与して行かざるを得ない。それは、望むと望まざるとを問わず関与せざるを得ない。日本は工業立国であり、天然資源に乏しい国である。その為に我々の先達は創意工夫を凝らして、如何にすれば国民が豊かで安穩に暮らせるかについて心を砕いて来た。その意味でも、海外貿易は有用であり生命線である。だからこそ有為の人材を育成すること、延いては社会貢献出来得る人材育成こそが我々教職に就く者の使命であると思う。その第一歩として様々な工夫で以って生徒へ還元できるようにした。

今後は、更に己の研鑽を積み広い視野と知識が要求される。果たしてその任に堪えうるか否かは確たるものが無いが努力は怠れない。

最後に、今回参加するに当たり配慮を戴いた服部校長を初め県教育委員会・JICA 兵庫所長・JICA 兵庫高田氏等諸氏の協力を得て無事帰国した。事前研修から始まり幾度と無く研修を繰り返し漸くのこと現地に着、どうなる事やらと一時は心配したが得るものが多かった。



<宿舎レヌーカ・ホテルと制服姿のボーイ>



<庶民の足スリー・ウィーラー>

6.総合的学習の時間「国際理解講座」のこれまでの取組み

国際理解講座 年間計画

目標：自国文化の理解と異文化理解をすすめることで、国際社会に活躍できる人材を育成するため、多文化共生社会の実現に向けて努力する姿勢を養う。

単位：2単位

	項目	月	内 容	備 考
1 学期	日本の 文化理解	4	オリエンテーション・講座紹介 「異文化理解とは」・「国際人として求められるものは」・「茶道」についての理解、講師招聘。「茶」の文献を学ぶ、海外での「茶」の体験談を文献で学ぶ。 「華道」の文化に親しむ、講師招聘。ALTとともに体験、それに基づいた講義。	
		5	「和服」を通じた日本文化理解 茶・華道師範を招き和服の着付け、マナー、及び和服を着た上での茶・華道を体験。 後ディスカッション。「郷土史を通じた世界理解」、「高砂巡検」を学ぶ。	
		6	伝統楽器「琴」を通じ中国文化及び日本文化の理解 『音階』『楽譜』が西洋音楽と異なることを体験させ、それを通じて日本と世界を理解させる。琴師範を招き体験をする。	
		7	ALTによる講義 テーマ：「私の人生」「米国文化について」 「日本で生活してみよう」「両国の食文化について」等。 高度経済成長について企業を通して実体験 COBELCOの溶高炉の見学。『鉄は国家なり』を理解。	
		8	「サマーキャンプ」「近隣ALT達を囲んで」「留学生を囲んで」 姫路城巡検＝古跡を通して世界を見る。テーマ『日本の再発見』	
2 学期	異文化理解	9	「能」について学ぶ 高砂神社にて謡曲「高砂」を小松宮司より講義を受け能を体験する。 近隣大手企業の外事課の担当者(海外駐在経験を持つ社員or海外との商談担当者) を招き、経験談を語り及びそれに基づく討論会。 JICAから講師を招く。	
		10	「海外駐在経験談」「海外旅行体験談」を聞く ——その経験から得た海外で通用する、or 必要とされる人物とは ——特に米国について、欧州について。アジアについて。 「本校の豪州海外研修旅行」に於ける体験談を聞く。	
		11	在日韓国・朝鮮人の講師を招き、民族料理作りを体験する。 韓国・朝鮮文化についての講義。 華僑の人を講師に招いての中国文化についての講義。 印僑の人を講師に招いての印度文化についての講義。	
		12	講義「国際理解とは何か」 ——ルース＝ベネディクト著「菊と刀」・ラフカディオ＝ハーン著 「雪女」「耳なし法一」・新渡戸稲造の「武士道」等を参考文献に ——青年海外協力隊の元隊員を招き体験談を聞く。	
3 学期	国際社会 における 日本の役割	1	NIE事業と連携した国際理解	

国際理解講座(詳細)

		内 容	備 考
4/13	木	オリエンテーション	
4/18	火	VTR「茶道」による茶道入門	
4/20	木	茶道(1)	立田 師範
4/25	火	お茶について英書より学ぶ	
4/27	木	茶道(2)	立田 師範
5/2	火	VTR「着付け」について	
5/9	木	和服の着付け	小山先生
5/11	火	和服文化について	
5/25	火	和服の立ち居振る舞いについて	小山先生
5/30	木	和服の立ち居振る舞い・礼儀作法について	
6/1	火	郷土の歴史を学ぶ(1)	
6/6	木	立花を学ぶ(1)	野崎先生
6/8	火	立花を学ぶ(2)	野崎先生
6/13	木	郷土の歴史を学ぶ(2)	
6/15	火	ALTによる講義(1)	Bryan Fredricks
6/20	木	琴に親しむ(1)	長谷川師範
6/22	火	ALTによる講義(2)	Bryan Fredricks
6/27	木	琴に親しむ(2)	長谷川師範
7/13	木	JICAの国際援助活動について, VTRを用いて(1)	
7/18	火	JICAの国際援助活動について, VTRを用いて(2)	
7/20	木	終業式後に神戸製鋼所の高炉見学	神戸製鋼所
9/5	火	「能」について学ぶ。謡曲「高砂」を学ぶ(1)	松本師範
9/7	木	「能」について学ぶ。謡曲「高砂」を学ぶ(2)	
9/12	火	近隣大手企業の海外駐在経験者を招き、経験談を語って貰う(1)	住友金属 鉦山
9/14	木	近隣大手企業の海外駐在経験者を招き、経験談を語って貰う(2)	東前 高志氏
9/19	火	JICA職員を講師招聘(国際協力機構職員)	段原 里美氏
9/21	木	新ALTによる講義「異文化理解」(1)	
9/26	火	新ALTによる講義「異文化理解」(2)	
9/28	木	新ALTによる講義「異文化理解」(3)	
10/3	火	新ALTによる講義「異文化理解」(4)	Brenda Mckinney
10/10	火	JICA教師海外研修「スリランカ研修」報告	浦上教諭
10/12	木	「本校の豪州海外研修旅行」に於ける体験談を聞く	林教諭
10/20	金	在日韓国・朝鮮人の講師を招き、民族料理作りを体験する	盧敏順女史
10/24	火	中国人を講師に招いての中国文化についての講義(1)	天津外国語大学
10/26	木	中国人を講師に招いての中国文化についての講義(2)	講師張滄氏
10/31	火	ラフカディオ＝ハーン著「貉」を原書で読む	
11/2	木	ラフカディオ＝ハーン著「雪女」を原書で読む	
11/7	火	ラフカディオ＝ハーン著「雪女」を原書で読む	
11/9	木	ラフカディオ＝ハーン著「耳なし法一」を原書で読む	
11/14	火	新渡戸稲造の「武士道」を原書で読む(1)	
11/15	水	台湾 新豊高校生との国際交流会参加	
11/16	木	新渡戸稲造の「武士道」を原書で読む(2)	
11/21	火	ルース＝ベネディクト著「菊と刀」を原書で読む(1)	
11/28	火	ルース＝ベネディクト著「菊と刀」を原書で読む(2)	
12/8	金	新ALTとともに姫路城へ巡検。	Brenda Mckinney
1/11	木	NIE事業と連携した国際理解	
1/16	火	実践報告会	
1/18	木	自由研究	
1/23	火	自由研究	